

全労連社会保障闘争本部ニュース No.55 2018年5月18日

介護・ヘルパーネット NEWS ⑧

全国労働組合総連合 〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 TEL03-5842-5611

介護を良くするアクション月間実施中！ 介護＆社会保障署名提出行動に178人 介護署名累計27万1430人分を提出



全労連は中央社保協、全日本民医連、東京・千葉などの首都圏社保協とともに5月17日、介護＆社会保障署名の提出行動を行いました。100人が参加した東京土建をはじめ178人が参加。駆けつけた日本共産党の宮本岳志衆院議員、武田良介参院議員、国民民主党の下條みつ衆院議員に、介護署名10万290人分と社会保障署名26万9289人分を提出しました。介護署名は3月提出分を合わせ、271,430人分となりました。集会後参加者は国会議員要請を行いました。全労連は介護・ヘルパーネットの事務局を中心に、10人の紹介議員に署名を届けに回りました。

署名宣伝行動の反応は日増しに良くなっている 真実を伝え、恐ろしい安倍政権の退陣を—岩橋副議長が主催あいさつ

主催者あいさつにたった岩橋祐治全労連副議長は、「安倍政権は次々と法案採決を強行しようとしている」と指摘。「通商や貿易にかかわるTPP11を、たった10時間の審議で今週中に成立を狙っている。『はたらき方改革』一括法案の高度プロフェッショナル制は、労基法、労働時間にかかわる規制を年休以外すべて除外し、年間104日、年休5日以外のすべての日、計算上では6144時間働かせることも可能とする恐ろしいものだ。労働時間の上限規定も月100時間、2-6ヶ月の平均80時間という過労死認定基準を労基法上の上限にもってくるといふ問題の多いものだ。法案審議は始まったばかりで問題点が次々明らかになっているのに35時間の審議で来週にも採決しようとしている。捏造、改ざん、ごまかしばかりの法案審議で悪法を成立させることは許されない。署名・宣伝行動への街頭の反応は日増しに良くなっている。どんなに恐ろしいことがされようとしているのか真実を伝え、6月20日の会期末に向け、最後まで力を尽くそうと訴えました。

社会保障でも野党共闘！ 3議員に署名提出



武田良介衆院議員は「個人の尊厳を侵す安倍暴走政治にストップを」と訴え、下條みつ衆院議員は「税金が庶民の暮らしと隔たったところに使われている。誰のための政治か」と訴え。「そんなに戦争がしたければ安倍さんが行けばよい。これだけ捏造していたら憲法改定など何をされるかわからない」と訴えました。宮本岳志衆院議員は、「社会保障の課題でも国民民主党の議員が来てくれて、野党共闘は大変心強い。野党は共闘して、福田前財務次官、麻生財務大臣の辞任と、柳瀬元首相秘書官の証人喚問、財務省の文書の全面開示を求めてきた。財務省の文書は18日に出すと言っていたのに25日まで出さないと訴えてきた。とにかく早く出させて国民の疑念に答えることが重要だ」と強調しました。3議員はそろって署名を受け取りました。倉林明子参院議員、山下芳生参院議員、柚木道義衆院議員は公務で参加できず、秘書の方が参加しました。

10年20年はたらし続けられる職場条件を

介護・ヘルパーネット米沢さんが実態報告

全日本民医連から山田智副会長が、4月18日に発表した「2017年経済的事由による手遅れ死亡事故調査の概要」を報告。千葉土建や東京土建の発言のあと、全労連介護・ヘルパーネットから米沢哲世話人が、前回の介護労働者の実態アンケート結果から、介護労働者の実態を報告しました。

<米沢さんの報告>

全労連介護・ヘルパーネットは、介護労働者の実態アンケートに5年ぶりに取り組む準備をしている。前回のアンケートでは、「休みがまったく取れない」が2割で、取れる人でも半数が「5日以下」しか取れない状況。そして4分の1が「予定通りに休みが取れない」と答えていた。7割がやりがいを感じているのに、半数以上がやめたいと思っている実態も明らかになり、労働時間が長いほどやりがいを感じられなくなっていたと報告。

政府は介護労働者が38万人足りないと言っているが、現場の体制を組む人が足りない。介護施設の夜勤は多くが一人勤務で、16-17時間ぶっ通しで精神的不安を抱えながら働いている。にもかかわらず、子どもや家族を養うのに十分な賃金がもらえなければ続けられないのは当然だ。

利用者にとっても、人がどんどんやめてしまったら質が上がらない。10年20年働ける職場を提供することが必要だ。良い介護をするためにも制度の改善を求めたい。

介護保険は発足以来、給付抑制、負担増の歴史だ。そうではなく必要な人に必要な介護を提供できるよう、経営者、利用者、家族とともに良い制度を作っていきたい。



わたしたちの運動が議員にドアを開けさせている。 一手ごたえのあった議員要請

中央社保協の山口一秀事務局長が行動提起で、「安倍暴走政治が加速している。各分野・地域の運動とともに25条署名と『社会保障は国の責任で』の運動を大きく広げよう。秋には医療、介護、保育、年金など次々に集会が予定されているが、『社会保障は国の責任で』という大きな行動を提起したい。改めて連絡する」と述べました。集会終了後、参加者は国会議員要請に向かいました。

議員要請で全労連は、社会保障のパンフと訪問介護の回数制限への資料と意見書、医労連の介護

労働者リーフを持って行きました。立憲民主党の阿部知子議員室では秘書対応でしたが、訪問介護の回数制限について反対の姿勢を明確にしました。厚労委員ではないが、党内で輪を広げていくとのことでした。国民民主党の下条みつ議員は議員本人と懇談。現場の実態や政治のうみの話をし、今の政治をかえなくてはならないと熱弁されていたそうです。国民民主党の桜井議員も秘書対応でしたが、「政局にかかわらず、必要なことをおこなっていく」と話していました。13時15分から始まった報告集会では、参加者が次々発言。野党共闘の広がりを感じた議員要請になりました。

中央社保協の是枝さんが、「私たちの運動が議員を励ましドアを開けさせている。数年前には会ってもくれないことが続いてきたが、今ではいろんな人が会って真摯に話を聞いてくれるようになった。これからも地道な取り組みを続けていこう。」と述べ、10月からは3割負担も始まる。高く介護を受けられない人の数はなかなか表に出てこない。掘り起しが必要だ」と訴えました。

#介護に笑顔と希望を キャンペーン！ 写真を撮って送ってください



介護に「笑顔」と「希望」をキャンペーン

作成者: かいごのぞみ [?] · 5月15日 18:05 · 📍

介護を良くするアクション月間実施中！

長野県医労連は5/14、介護よくするアクション月間の一環で介護福祉士会との懇談、駅前宣伝行動を行いました。医労連と県労連介護ユニオンが参加し、1時間で36人分の書名を集めました。80歳くらいの方がお世話になっていると声をかけてくれました。自転車の方も止まって署名してくれました。

#介護に笑顔と希望を



介護に「笑顔」と「希望」をキャンペーン

作成者: かいごのぞみ [?] · 5月15日 18:30 · 📍

介護を良くするアクション月間実施中！5月12日ナースウエーブで訴えた福島県医労連の皆さん。

リレートークをしながら産別最賃署名と全国一律最賃署名に30分間とろくみ、それぞれ105人分、103人分の書名が集まりました。医療従事者の増員と介護職員の賃金改善には「がんばって」と応援する声が多数寄せられました。#介護に笑顔と希望を



紹介議員一覧 (5/17 現在)

<衆院議員> 篠原孝 (民進・長野1区) / 下条みつ (希望・長野2区) / 白石洋一 (希望・愛媛3区) / 高橋千鶴子 (共産・東北) / 阿部知子 (立憲・神奈川12区) / 柚木道義 (希望・中国) / 長谷川嘉一 (立憲・比例北関東) / 宮本岳志 (共産・比例近畿) <参院議員> 倉林明子 (共産・京都) / 福島瑞穂 (社民・比例) / 桜井充 (民進・宮城) / 武田良介 (共産・比例) (順不同・敬称略)